



KISMO ニュースレター 8月号

7月の出来事【 プリウス品薄、補助金に間に合うか？ 】

こんにちは、キスモです。

日厳しい暑さがつづいております。みなさま、いかがおすごでしょうか？

さて、トヨタプリウスの品不足についてお知らせいたします、5月24日以降の注文に関しては、10月下旬以降の納期となっております。この時点での受注台数がすでに11万台でした。

205万円の価格やエコカー減税、補助金制度の追い風もあり、驚異的な受注が発生したようです。その後も受注が伸びつづけ6月末の注文では、来年3月以降の納期となりそうです。

問題は、追い風の要因である補助金制度が平成22年3月末が適応期限であることと、予算に到達すれば、早期終了の可能性も出てくると思われます。トヨタでも今後の注文については政府の「環境対応車購入補助制度」の期限に間に合わない恐れがあるとして、購入検討客に注意を促していく方針が出ています。

当社でも、このような懸念から来年3月までに納車可能なプリウスを3台当社名義で受注を入れる緊急対策を講じています。3台までなら3月納車のプリウスの受注が可能です。

さらに、今回「環境対応車購入補助制度」の対象となる人気ハイブリッド車のお問い合わせ書をお送りいたしました、お問い合わせは、お電話でもFAXでも結構です。

プリウス受注残のため、環境対応車購入補助制度は大きく期間を残したまま、大詰めに入ってしまった状況です。ぜひ、お急ぎください



サービスニュース

こんにちは、宮川です。

夏、真っ盛り「暑いですねー」が口癖になりそうなこの頃です。

この暑さ、睡眠不足になって居眠り運転なんてことになったら大変です。体調管理をしっかりやって、安全運転をお願いしますね。

さて、今日はそんな居眠り運転にちょっと関連したレーンキーピングアシストのお話です。最近のトヨタの技術のひとつで、高速道路や自動車専用道路を走行中にステアリングにわずかな操舵力を加えてステアリング操作のアシストを行うものです。

すごいのは、コンピューターが、レーンレコグニションカメラからのデータを解析して、道路の白線を認識し、スイッチ操作と運転状況に応じて、車線逸脱警報を鳴らしたり、車線維持支援をしてくれる装置なんです。居眠り運転なんてしない方がいいに決まっているんだけど、万が一のときのための安全装置も日々進化しているんですね。

ただ、このレーンキーピングアシストの説明には、「決してドライバーが手放し運転をするための装置ではない」と明記されています。

あたりまえですけどね。。。

最近の自動車は、コンピュータに処理能力が高くなったため、いろんな装置が超高速作動することが可能になって、どんどん便利になっていく反面、昔のクルマが懐かしくて、郷愁みたいなものを感じることも多くなりました。

